

● 金立小学校沿革

明治 6年（1873年）金立、千布の2村に各独立の小学校を設立。

※金立小学校の前身 名称は不詳

明治20年（1887年）金立、千布の2小学校を合併し、恵迪（けいてき）小学校を設立。

※松原地区の金立小学校跡の石碑がある場所に位置する。

明治25年（1892年）金立久保泉学校組合立となり、名称を金立尋常小学校と改称する。

昭和14年（1939年）現在地へ教室を新築。松原地区から現在地への移転が始まる。

昭和16年（1941年）松原地区から現在地への移転が完了する。

昭和16年（1941年）金立国民学校と改称する。

昭和22年（1947年）学校改革により、金立小学校と改称する。中学校を併設する。

昭和29年（1954年）市町村合併により、佐賀市立金立小学校となる。

昭和37年（1962年）併設の中学校校舎が金泉中学校（昭和35年開校）へ移転する。

昭和37年（1962年）完全給食を開始する。

昭和39年（1964年）プールを新築する。

昭和42年（1967年）標準服を制定する。

昭和47年（1972年）体育館を新築する。 ※現駐車場の場所に建設 平成24年に解体

昭和52年（1977年）創立100周年記念式典を開催し、「金立百年の歩み」発行する。

昭和54年（1979年）金立特別支援学校との交流教育を始める。

昭和55年（1980年）新校舎を建設する。 ※現在の校舎

平成24年（2012年）体育館を新築する。 ※現在の体育館

金立小学校は、今年度（平成26年度）で創立137年を迎えます。

● 児童数の変遷

年 度	児童数
昭和12	431人
昭和33	750人
昭和42	481人
昭和52	467人
平成元	398人
平成15	291人
平成19	240人
平成23	236人
平成24	226人
平成25	223人
平成26	217人